

しちょう

こうやく

市長としての公約

小川ひろみは
あなたと一緒に
鶴ヶ島をこう変える

『子育て世代に 選ばれるまちへ』

- ・ 中学校の給食費無償化
- ・ 小中学校の PTA 解散
→ 完全任意参加の学校応援団に再編
- ・ 教育委員会から独立した
いじめ対応部署の設立
- ・ 保育所から発達障害の早期支援

『あなたの健康を 支えるまちへ』

- ・ 鶴ヶ島を健康寿命日本一にする
- ・ エビデンスに基づいた介護予防への見直し
- ・ 高齢者インフルエンザワクチンの無償化
- ・ 水道水で虫歯を半分に減らす

市民と
伴走する
ための公約

コストカット

- ・ 市長給与 50% カット
- ・ 市長の高級公用車の廃止
- ・ 行政のムダ・縦割り行政撲滅委員会の設置

1 ぼうさい 防災



- ・ 水道管の耐震化計画の前倒し
- ・ 上水道事業の不採算事業の中止
- ・ 近～中距離自治体との災害時
相互支援協定の締結
- ・ 行政と病院間の傷病者情報共有
システム「鶴ヶ島モデル」の構築

3 まちづくり



- ・ 運動に適した公園の整備
- ・ 駅周辺の路上喫煙禁止地区の設定
- ・ 都市計画道路の早期実現

2 しみんせいかつ 市民生活



- ・ ゴミ集積所の管理を
自治会から市へ
- ・ 終活（相続、空き家対策、
認知症の後見人）への支援
- ・ 自治会・市民団体の業務効率化支援
- ・ 高齢者世帯の安否確認システムの強化

4 さんぎょうしんこう 産業振興



- ・ 市内中小企業の
プロモーション広告支援
- ・ 市内事業者の
事業継承マッチングサービス

重点政策

つるがしま 鶴ヶ島を変える！

市長を
目指す
鶴ヶ島市議会議員

小川ひろみ 33才

発行 小川ひろみ後援会

鶴ヶ島市脚折 1501-2

これは「討論資料」です。
これからの鶴ヶ島市にどうなって欲しいか、
ご家族やご友人と話し合ってください。

公約

健康格差の縮小

けんこうかくさ

しゅくしよう

実現

子どものインフルエンザ
ワクチンの接種費用が無償化されます

せうしゅひよう
おしようか

小川ひろみのポイント解説

インフルエンザは毎年日本人の10%が発症する呼吸器感染症です。
感染力が高く、集団生活を行っている子どもや高齢者を中心に流行します。
発症者の中で頻度は多くありませんが、脳症を発症し、重い後遺症を残す場合もあり、
全ての方におすすめるワクチンです。

従来の不活化ワクチンだけでなく、新しいタイプのワクチン（生ワクチン）を選ぶ
こともできます。生ワクチンは鼻にスプレーするワクチンで、
注射が苦手なお子さんでも接種しやすいです。
生ワクチンは免疫力が低下していたり、高齢者や妊婦と同居している場合には推奨
されない場合もあるため、かかりつけの医師と相談してみてください。



公約報告

小川ひろみは公約として寄付を
おこなっています。月額 35.5 万円の
議員報酬から難病のこども支援全国
ネットワークに10万円を寄付しました。
これまでに計100万円の寄付を行いました。

公式 SNS ▶
Youtube
ブログ
配信中！



小川ひろみプロフィール

33歳 / 医師 リハビリテーション科専門医
鶴ヶ島市議会議員 / 防災士
医師として働きながら鶴ヶ島市初の
平成生まれの市議会議員として活動。
生きづらさを抱える全ての人のための
かかりつけ医です。専門は身体障害、
高齢者福祉、発達障害

